

リスクリング(学び直し)は
当社にお任せください!

DXリテラシー強化20講座

新しいデジタル・トランスフォーメーション時代における対策講座
～4大メガトレンドに向けた効果的な最新DX講座をお届けします～

AIU	1,822	2,349,000
EJK	3,680	2,348,000
HPL	1,062	1,547,000
KEE	485	1,369,000
NAH	8,569	1,920,000
QOP	6,602	1,026,000
TIK	890	24,697,000
WIG	4,280	76,002,000

AIU	HJI	WWE	PLO	EER	QRT	OPY
1,822	20,369	890	6,350	10,985	665	6,800
(-35)	(+580)	(-20)	(-200)	(+580)	(-15)	(-115)
MBC	LJH	MJB	PON	NFR	UGH	OMJ
3,605	9,542	2,609	7,654	6,522	1,632	3,652
(+210)	(-128)	(+35)	(+169)	(+122)	(-54)	(+182)
YBV	QMN	MMJ	IIT	KLM	CCX	EMH
3,204	5,211	7,100	7,150	782	1,901	3,280
(-33)	(+156)	(-60)	(-150)	(+74)	(+101)	(-120)
MBR	WFF	HJM	QLC	LSD	SDH	GHS
3,120	112	134	2,022	631	6,287	12,630
(+30)	(+12)	(+5)	(-18)	(+40)	(-57)	(+330)

キャリアビーム・コンサルティング合同会社
2023年4月

商願登録2020-120178



経済産業省DX認定事業者
DX-2021-10-0007-01

DXリテラシー強化講座×20選

知るDX講座

New!
初心者向け **DX市場動向(最新)**

New!
初心者向け **DX人材育成講座**
(リスキング、DXリテラシー)

初心者向け **勝てる営業手法**
(~Digital Marketing編~)

初心者向け **DX導入事例**
(小売業、製造業、物流業、医療等)

New!
経営者向け **DX認定事業者
必勝講座**

考えるDX講座

New!
中上級者向け **ビジネスモデル研修**
(LeanCanvas座学)

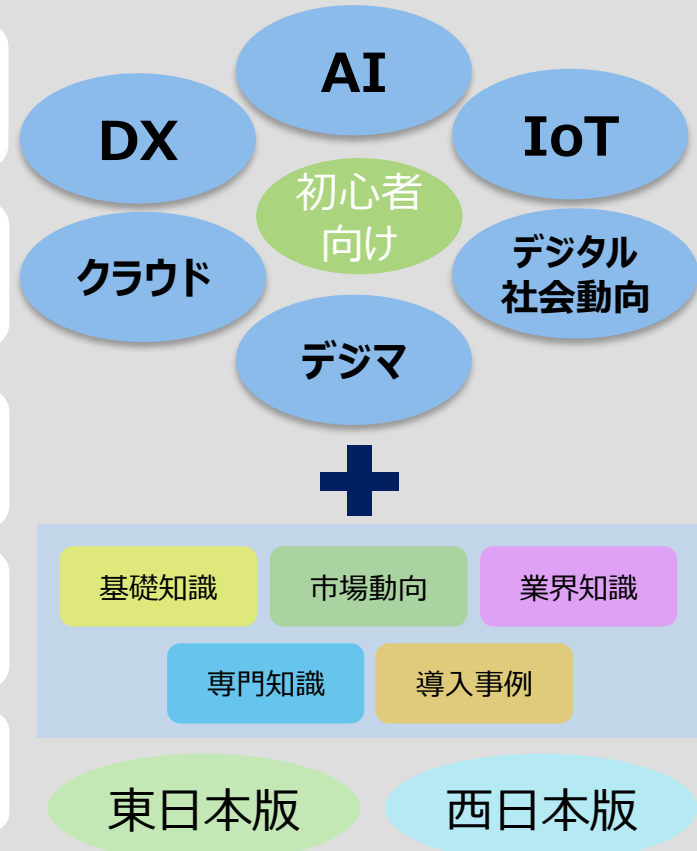
中上級者向け **ワークショップ研修**
(課題別ワークショップ)

New!
中上級者向け **コミュニケーション研修**
(グローバル・コミュニケーション)

New!
中上級者向け **データ分析超入門講座**
(データサイエンティスト育成)

New!
管理者向け **経営視点から見た
AIの持つ力と影響**

Eラーニング (ELNO)



DX時代におけるビジネスモデルといっても一体何のことか？

定義

DX～デジタル・トランスフォーメーション～は概念であり、あらゆるものがデジタル化され世の中が変化し新しいビジネスモデルによりビジネスチャンスが生まれること

今回のご提案プログラムでは、以下の2部構成にて、DX推進者等の皆さまに、DXの理解にとどまらず、実際のご自身の業務への展開イメージまで考えて頂きます。

DXによって世の中がどう変わるかを「知るDX講座」



①DX時代における「デジタル」で何が「変わる」のか？知るeラーニング講座

どのようなビジネスモデル提案ができるかを「考えるDX講座」



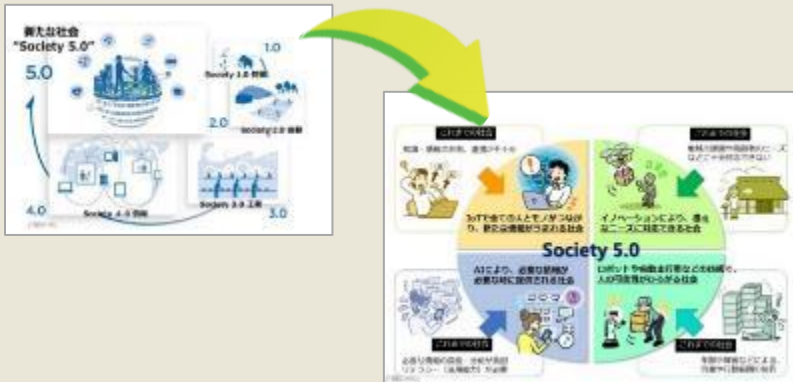
②「DXビジネスモデル」を学びどのようなビジネスチャンスが生まれるのか？考えるeラーニング講座

「知るDX講座」について ～DXによって世の中がどう変わるか～

第1部の「知る」パートでは、6つのカテゴリ別デジタルリテラシー基礎知識について、基本的な考え方と、最新事例を織り交ぜながら、知識習得および、Society 5.0に向けた気付きを促します。

DX時代における データドリブンとは何か？

DXにより世の中がどう変わり、さらには自身の業務がどう変化するかについて着目するための知識と事例を紹介します



各種テクノロジー (デジタルリテラシーの基礎)

Society 5.0時代に向けてデジタルリテラシーの基礎を習得するための各種テクノロジーについて、基本的な知識と活用事例を紹介します

①DX

とは

②AI

とは

③IoT

とは

④クラウド

とは

⑤デジマ

とは

⑥デジタル
社会動向

とは

「知るDX講座」

各種テクノロジー(デジタルリテラシーの基礎)を学ぶ
①DX、②AI、③IoT、④クラウド、⑤デジマ、⑥デジタル社会動向

DX基礎知識
習得

ログイン画面



6つの講座



基礎知識

市場動向

業界知識

専門知識

導入事例

東日本版

西日本版

デジタル推進人材230万人の育成を目指す！

グローバル

雇用増減予測(2025年)

増える職種

- データ・サイエンティスト
- AIエンジニア
- コンテンツクリエイター
- デジタルマーケティング
- グリーンエコノミー

9700
万人

減る職種

- 事務員
- 秘書
- 経理・会計士
- 工場労働者

▲8500
万人

日本政府

デジタル田園都市国家構想

2026年度末までに、
デジタル推進人材

230万人 育成
を目指す。(約1兆円市場)



出典：仕事の未来レポート2020/世界経済フォーラム
<https://jp.weforum.org/press/2020/10/recession-and-automation-changes-our-future-of-work-but-there-are-jobs-coming-report-says/>

出典：日本政府/内閣府/デジタル田園都市国家構想
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/about/digital-resources.html>

DXリテラシー強化講座カリキュラム(初級編)



No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座1	<p>New! DXを活用したい人にもオススメ！ ニューノーマル時代に求められる本当のデジタル人材、そしてスキルとは？</p> <p>最新DX市場動向について ～4大メガトレンドからデジタル社会動向や近未来社会の知見を読み解く～</p>	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または集合研修 いずれでもOK	<p>Withコロナ時代、ニューノーマル時代におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速している中で Disruptive Technology(AI、クラウド、IoT、仮想化、エッジコンピューティング、5G、ドローン)の最新のDX市場動向を学び、今後のDX時代において、どのようなスキルセットが必要か？DXを活用したい人にもオススメです。ニューノーマル時代に求められる本当のデジタル人材、そしてスキルとは？どのようにしたらビジネスチャンス、新ビジネス創造の機会を獲得できるか？ 学習できるセミナーとなります。</p> <p>第1章 DX市場動向 ・DXとは何か？DX市場動向、4つのメガトレンド、Society 5.0、デジタルツイン</p> <p>第2章 ESG経営とは何か？ ・ESG(環境、社会、ガバナンス)、ESG投資、DX+ESG</p> <p>第3章 エッジ AI (映像分析) ・AI市場動向、AI適用分野、AI画像解析による自動化</p> <p>第4章 導入事例 ・導入事例(製造業、小売業、スマートシティ)</p> <p>第5章 デジタル人材育成スキルセット ・ニューノーマル時代に求められる本当のデジタル人材、そしてスキルとは？</p>
講座2	<p>New! DX推進のために何が必要か？</p> <p>デジタル人材育成講座 (スキルセット/マインドセット/組織論)</p>	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または集合研修 いずれでもOK	<p>◆座学(所要時間:90分) DX時代に必要なDXマインドセットは何か？DXスキル・セットマップ、Hunter/Farmer/Fisher理論を中心に、今後の新たなビジネスモデルや販売施策立案に活用できる思考力を習得ができるDX時代に勝つための強化研修</p> <p>第1章 DX推進に必要なスキル・知識とは？ 第2章 DX化を推進するためのポイント 第3章 私のよくやっている発想法 第4章 DX推進に必要な心構えとは？ 第5章 仕事に役立つDXノウハウ</p> <p>◆質疑応答(所要時間:30分)</p>
講座3	<p>業種別ケーススタディ DX導入事例のご紹介 (成功事例/失敗事例)</p>	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または集合研修 いずれでもOK	<p>■DX導入事例を紹介します。業種別ケーススタディ×4つを図解化して解説します。どのようなビジネスモデルであれば成功するか？具体的な事例を通して学ぶ。 ＜業種別ケーススタディ×4つ＞</p> <p>事例①Smart Retail / 小売業 / 現場効率化(AI画像解析/AI欠品検出) 事例②Smart Manufacturing / 製造業 / 現場効率化(AI音声認識/ペーパレス) 事例③Smart Logistics / 物流業 / 無人搬送車(AGV/Automatic Guides Vehicle) 事例④Smart Robotics / 自律搬送ロボット(AMR/Autonomous Mobile Robot)</p>

DXリテラシー強化講座カリキュラム(初級編)

No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座4	DX時代の勝てる営業手法 ～Digital Marketing編～	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または 集合研修いずれでもOK	<p>◆座学 (所要時間: 90分) DX時代に必要なDXマインドセットは何か? DXスキル・セットマップ、Hunter/Farmer/Fisher理論を中心に、今後の新たなビジネスモデルや販売施策立案に活用できる思考力を習得ができるDX時代に勝つための強化研修</p> <p>第5章 Digital Marketing (方法論) 第6章私のよくやっている発想法/20のシナリオ(Biz Model) イノベーションのご紹介(DX事例/動画コンテンツ)</p> <p>◆質疑応答 (所要時間: 30分)</p>
講座5	ワークショップ ^o 初級研修 Sales Methodology for Winner !	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または 集合研修いずれでもOK	<p>下記テーマに沿って各テーブル毎にディスカッションを行います。</p> <p>■グループディスカッション ターゲット: 小売業/製造業/物流業/医療/...etc)</p> <p>■ワークショップの進め方 各テーブル(5名/チーム×3テーブル)でディスカッションを実施してください。(30分) 各テーブルの社員が、議論をリード、メモを取ります。 最後に各テーブルの発表を行います。 (各チーム5分×3=15分、チームリーダーの社員が発表)</p>
講座6	New! Lean Canvasビジネスモデル研修	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または 集合研修いずれでもOK	<p>DXに関するビジネスモデルの検討やデザイン思考の定着を図るため、「DX市場予測」と「LeanCanvasビジネスモデル」ワークショップ、にて DXビジネスを紐解く能力の習得を目標とする。9つのブロックで構成されるLean Canvasビジネスモデル概要について理解をする</p>
講座7	New! Lean Canvasビジネスモデル研修 ワークショップ形式 (個人ワーク/グループワーク/発表)	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または 集合研修いずれでもOK	<p>◆個人ワーク ・自身の成功事例/失敗事例におけるIoT/AIプロジェクトを元に「LeanCanvasビジネスモデル」の作成を実施する。</p> <p>◆グループワーク ・グループワークにおいて、各人が検討「LeanCanvasビジネスモデル」に対して発表し合い、より有効と思われるものをグループ内投票により決定し、さらにグループ代表案としてブラッシュアップする</p> <p>◆グループ発表 ・選定したグループ代表の「LeanCanvasビジネスモデル」案を取り上げ、代表者が発表し、講師よりフィードバックコメントを行う</p> <p>◆講師総評 ・各グループの発表内容に対する総評、アドバイス</p>

DXリテラシー強化講座カリキュラム(中級編)

No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座8	エッジコンピューティング講座	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	<p>◆座学 (所要時間：90分)</p> <p>第1章 今後のIoT市場動向について 第2章 エッジPC製品 第3章 エッジサーバー 製品 第4章 業種別/20のシナリオ 第5章 Intelligent Transformation 第6章 イノベーションのご紹介(新製品予告含む)</p> <p>◆質疑応答 (所要時間：30分)</p> <p><概要> 本格的なAI・IoT時代を迎え、加速度的に増加する情報をより効率的に処理し、より効果的に活用して新たな価値を生み出していくに、新たなエッジコンピューティングソリューションが求められます。本セッションでは、前半で革新的で強力なエッジコンピューティングソリューションをご紹介します。</p>
講座9	Wi-Fi6と5Gの共存の時代に向けた無線ネットワーク基本講座 ～DX時代に必要な無線ネットワーク基本知識が習得可能！～	半日 コース	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	<p>DX時代に必要な法人市場向け無線ネットワークとは何か？ DX時代に最適な企業向け無線ネットワーク基本知識を学ぶ研修です。</p> <p>◆座学 (所要時間：各30分×6章)</p> <p>第1章 無線ネットワーク市場動向 第2章 無線LAN規格IEEEの進化(11bag～11ax) 第3章 Wi-Fi周波数帯2.4GHz/5GHz/4.9GHz 第4章 IoT専用無線周波数920MHz帯 第5章 Wi-Fiと5Gの使い分け(4G/5Gオフロード) 第5章 映像圧縮技術(4K/8K=>H.264～H.265) 第6章 導入事例</p> <p>◆質疑応答 (所要時間：30分)</p>
講座10	ハイブリッドクラウド基礎講座	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	<p>◆座学 (所要時間：60分)</p> <p><概要> 今後のハイブリッドクラウド/マルチクラウド時代における市場動向、日本のお客様へ高信頼性、高品質な仮想インフラとは何か？ Nutanix、VMware、Microsoft社のHCI～AWS、Azure、IBM Cloudなどのシームレスなハイブリッドクラウド環境について解説します。本セミナーでは、今後のDX時代に必要なITインフラ次世代仮想化基盤HCI市場動向、ハイブリッドクラウドの特長、それぞれの特長、比較、導入事例をご紹介します。</p> <p>◆質疑応答 (所要時間：30分)</p>

DXリテラシー強化講座カリキュラム(中級編)



No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座11	IoT/無人航空機(ドローン)入門講座 ～DX時代に必要「無人航空従事者試験3級」資格取得～	半日 コース	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	DX時代に必要ドローン基本知識、技術、法律知識、ドローンによる4K映像カメラのAI分析ソリューションに至るまでドローンの初めの一步が学習可能です。「無人航空従事者試験3級」資格取得を目指す方、必勝ノウハウを伝授します。 ◆座学(所要時間:60分) 第1章 無人航空機(ドローン)の基礎知識 (機体本体、構造、送信機、バッテリー、ブレード) 第2章 基礎力学(航空力学、速度、加速度) 第3章 飛行準備/フライトプラン策定 第4章 法規(航空法) 第5章 法規(電波法) 第6章 法規(小型無人機等飛行禁止法) 第7章 ドローンによる4K映像カメラのAI分析ソリューション ◆質疑応答(所要時間:30分)
講座12	New! データ分析/超入門講座 ～データサイエンティスト育成/デザイン思考力強化～	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	◆DXソリューション データ解析/演習概要について 「ミニDXソリューション モックアップの作成」 Excelによるデータ分析ことはじめ演習 お題テーマ:企業の人材離職予測の演習 ◆データ分析の考え方 データ分析手法 データ分析を取り巻く環境 ◆データ分析超入門(Excel編 基礎/表の作り方/集計方法) データ分析超入門&自学自習 (Excelツールを活用した実習) ハンズオン形式で各自のExcelツールを活用して、データ分析を実際に作ってみて、体感するハンズオン・トレーニング ◆データ分析超入門(Excel編 応用/データ分析/グラフ化) データ分析超入門&自学自習 (Excelツールを活用した実習) ハンズオン形式で各自のExcelツールを活用して、データ分析を実際に作ってみて、体感するハンズオン・トレーニング

DXリテラシー強化講座カリキュラム(上級編)

No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座13	DX時代におけるビジネスモデル思考力強化研修 ～Amazonのビジネスモデルを事例を交えて学ぶ～	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または集合研修いずれでもOK	Fortune G100社のトップ3に入るAmazon Japanマネージャーによる実践的な発想法、ビジネスモデル思考力を事例を交えて学ぶ研修 ◆座学（所要時間：90分） －アイデアを出すためのインプット、アウトプットの方法 －アイデアからビジネスを発想する方法と事例 －DX時代の発想方法 <目的> 今後の実務の成果最大化に加え、新たなビジネスモデルや販売施策立案に活用できる思考力を習得させることを目的とする ◆質疑応答（所要時間：30分）
講座14	New! 経営視点から見た AIの持つ力と影響	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または集合研修いずれでもOK	企業の経営／マネジメント(管理者)向けにAIの登場によって企業の経営(マネジメント)がどのように変化していくのかその展望を示す。企業の経営に携わる方が何を取り入れ、何を覚えていけばを提示して、経営視点ということで、短期的なAI活用だけでなく、中長期的な視点でも考える 【対象者】現場レベルのマネジメント（＝課長） 経営トップに近いマネジメント（＝役員・社長）
講座15	ワークショップ^o上級研修 Sales Methodology for Winner !	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または集合研修いずれでもOK	下記テーマに沿って各テーブル毎にディスカッションを行います。 ■グループディスカッション ターゲット：小売業／製造業／物流業／医療／…etc) ■ワークショップの進め方 各テーブル(5名／チーム×3テーブル)でディスカッションを実施してください。(30分) 各テーブルの社員が、議論をリード、メモを取ります。 最後に各テーブルの発表を行います。(各チーム5分×3＝15分、チームリーダーの社員が発表)

DXリテラシー強化講座カリキュラム(上級編)



No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座16	【特別セミナー／ジョイントセッション】 医療業界向けソリューションセミナー (最新メディカル／ヘルスケア向けソリューションのご紹介)	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	◆座学 (所要時間：90分) 第1章 医療系ソリューション(情報連携／病院間連携／地域医療連携) 第2章 IoTの活用ソリューションのご紹介(生体センサー、RFID患者管理) 第3章 AI活用ソリューションのご紹介(ナレッジ管理、診断支援／画像差異分析) ◆質疑応答 (所要時間：30分) <概要> 医療機関に於いては電子カルテやレセプトシステム等、個別システムの導入は進んでいるものの院内及び複数拠点にまたがるシステム上にあるデータを患者サービスへの適用や有益な経営戦略・事業競争力強化情報として活用できていない状況があります。そういった現状を踏まえ、ICT (H/W、S/W、NW) に新技術 (AI、IoT) を加えた情報活用基盤を実現する最新メディカルソリューションサービスをご提供致します。
講座17	【特別セミナー／ジョイントセッション】 With コロナ時代の人材育成生成感情による 攻めの DX マネジャー開発「 DxGROW 」体験講座	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	◆座学 (所要時間：半日コース) 第1章 DX時代に必要の人材育成／DXスキルセット) 第2章 ダイバーシティ組織の必要性(組織論) 第3章 GROW360のご紹介 人材の特性や能力を、「気質×コンピテンシー×スキル」の3つの観点で正確に可視化することができる評価ツール「GROW360」についてご紹介いたします。 <GROW360のサービス特徴> ■ 人材の気質・行動特性の両面で、精緻なデータ取得が可能 ■ 社内比較からBIG データ比較まで、さまざまな分析が可能 ■ 人材開発・組織開発におけるデータ活用をご支援 第4章 意識を変える！DX マネジャー開発プログラム「 DxGROW 」 GROWのバイアス測定手法を活用し、DX推進への潜在意識を見える化し課題を特定、また意識を変えていくための基礎講座をご提供する「DxGROW」をご紹介します。
講座18	【特別セミナー／ジョイントセッション】 AI/IoTを活用した事例のご紹介 最新事例から-現場でのリアルなAIデータ活用を学ぶ-(INPUT) ケーススタディに基づいたワークショップ(OUTPUT) -実事例を検討してみよう-	120分	オンライン形式 (WebEX/Teams等) または集合研修いず れでもOK	実際に顧客の課題を解決した事例を紹介。 ・どのような手法を用いて実現したか ・工夫、苦労した点、いかにデータが重要か…などを最新事例から学びます。 (自然言語解析／画像解析／音声解析 など) 実際の課題に沿って各テーブル毎にディスカッションを行います。 ・グループディスカッション ・グループごとの発表 ・講師からのコメント、アドバイス

グローバル・リーダー育成／研修カリキュラム



DXグローバル時代を勝ち抜くリーダーシップ力／交渉力強化

No	セミナーテーマ	所要時間	形式	概要
講座19	New! 【グローバルコミュニケーションコーチ】 グローバルDX時代におけるリーダーシップ力 ／交渉力強化(INPUT)	60分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または 集合研修いずれでもOK	Withコロナ時代、ソーシャルメディアを始め、グローバルレベルのデジタルトランスフォーメーション(DX)により、個人や組織のコミュニケーション活性化がますます求められるようになりました。実際今、世界で語るグローバルコミュニケーション力とは何か？本セッションでは、海外ベンダーやステークホルダーと、どのようにしたら効果的なコミュニケーションができるか？今更挫折しない英語スキル・コミュニケーション力を身につける方法、AI言語ツールなどを活用した即効メソッドをご紹介します。
講座20	New! 【グローバルコミュニケーションコーチ】 ケーススタディに基づいたワークショップ (OUTPUT)	90分	オンライン形式 (WebEX/Teams等)または 集合研修いずれでもOK	グローバル業務の流れを想定した、実践的なビジネス・コミュニケーションシーン（メール・ファシリテーション・プレゼン・ネゴシエーション）を全員参加型にて実施します。

DXビジネスのターゲット世代はどこが狙い目か？

	サイレント	ベビーブーム	ジェネレーションX	ミレニアル (ジェネレーションY)	ポストミレニアル (Gen-Z)	アルファ世代
出生時期	1928～45年	1946～64年	1965～80年	1981～96年	1997年～2016年	2017年～
推定年齢 (2019年現在)	74～91歳	55～73歳	39～54歳	23～38歳	3～22歳	1歳～2歳
全労働力人口に占める割合 (2017年)	2%	25%	33%	35%	5%	-
世代の成長期における 主な社会情勢	世界大恐慌、第二次世界大戦、電化製品の登場	冷戦、月面着陸、公民権運動、ベトナム戦争、女性解放運動	石油ショック、ウォーターゲート事件、チェルノブイリ原発事故、ベルリンの壁崩壊（冷戦終結）、インターネットの登場	同時多発テロ事件、イラク戦争、エンロンショック、ソーシャルメディアの出現	グレート・リセッション、アラブの春、WikiLeaksの開設、人工知能(AI)の進歩	TBD
代表的な製品	自動車	テレビ	パソコン	スマートフォン／タブレット端末	AR/VR、3Dプリンタ、自動運転車	AI/ロボティクス
コミュニケーション メディア	手紙	電話	電子メール／SMS	SMS／ソーシャルメディア	SMS／ソーシャルメディア／絵文字、小型通信端末（ウェアラブル装置、スマートテキストイル等）	TBD
デジタル技術の習熟度	アナログ（pre-digital）世代	デジタル移民（digital immigrant）*2	アーリーアダプター（early digital adopter）*3	デジタルネイティブ（digital native）*4	生来のデジタル／テクノロジー依存（digital innate/technoholic）世代	TBD
特徴・傾向	規律正しい核家族家庭で育った世代	私生活より仕事を優先することが多い最も熱心な働き手世代	前世代より独立心や順応性が高くテクノロジーに精通した世代	最も教養が高く、人種の多様性に富んだ世代で、活動的でテクノロジーに精通し、社会意識が高い	ミレニアル世代と同様の特徴を多く有するが、完全なスマホ／SNS世代	TBD

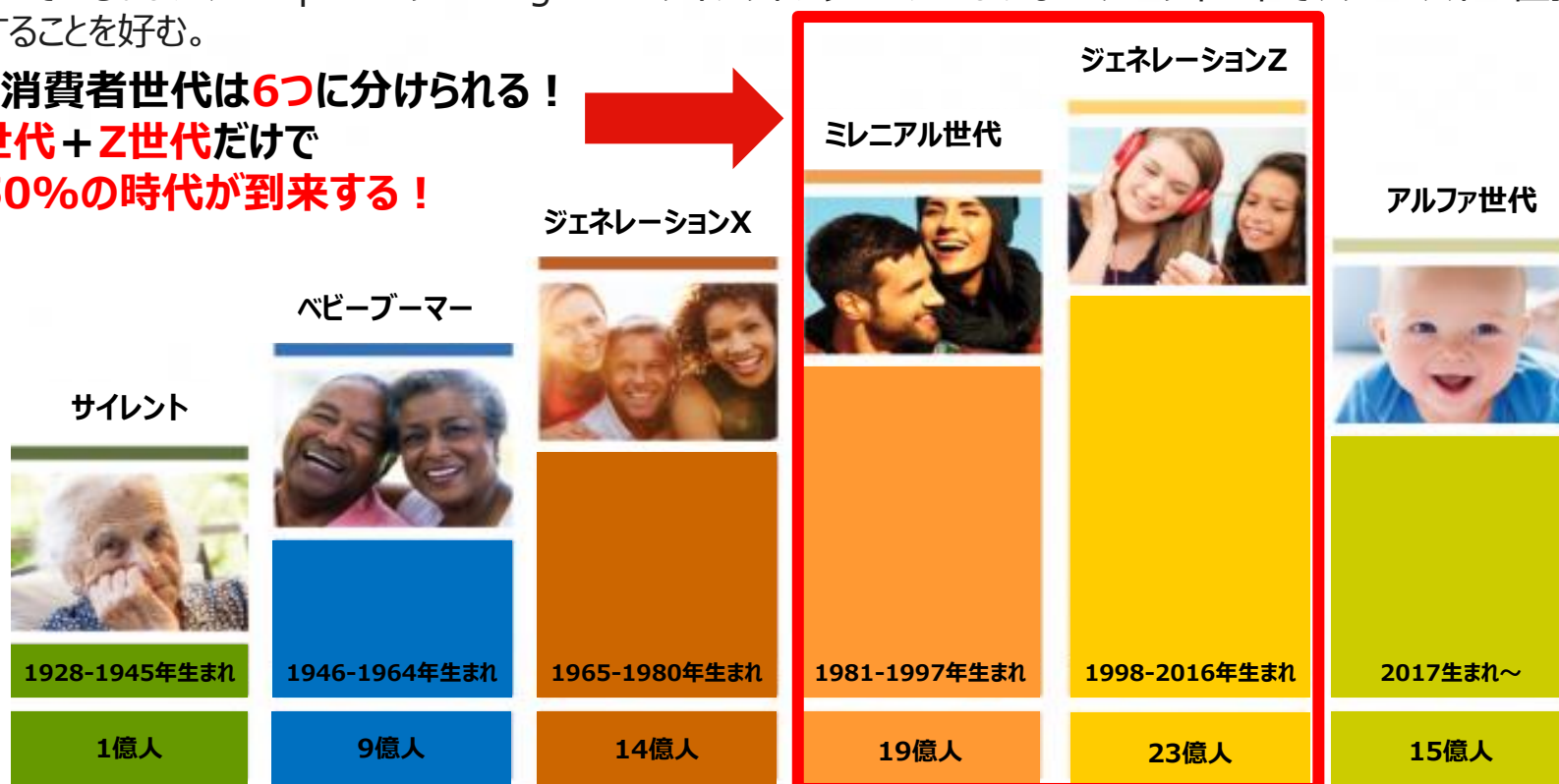
2 コンピューターが広く普及する以前に生まれ、大人になってからデジタル技術に慣れるために努力している人を指す。
 3 新しく市場に登場したデジタル技術をいち早く利用する人を指す。
 4 デジタル技術環境の中で生まれ育ち、コンピューターやインターネットに精通している人を指す。

出典：JETRO/IPA New York
 次世代を担う「ミレニアル世代」「ジェネレーションZ」
 -米国における世代（Generations）について(抜粋)

新世代Gen-Z世代とは・・・

「沈黙の世代」と「アルファ世代」を除く4つの世代が消費社会のメインを担い、なかでもより高い影響力をもつのは、世界で想定人口の3分の1となる**「ジェネレーションZ世代」**。彼らは物心ついた時からSNSなどに触れている真のデジタルネイティブ世代。**「ジェネレーションZ世代」**は、インターネットでより大量の情報に無料で触れているため、信頼に基づいた意思決定を行う傾向が強くなっている。また、SnapchatやInstagramのダイレクトメッセージのようなコミュニティの中で、クローズドに直接メッセージ交換することを好む。

2027年の消費者世代は6つに分けられる！
ミレニアル世代 + Z世代だけで
世界人口50%の時代が到来する！



出典：JETRO/IPA New York
次世代を担う「ミレニアル世代」「ジェネレーションZ」
→米国における世代（Generations）について(抜粋)

「ミレニアル世代」と「ジェネレーションZ」の主な相違点

	ミレニアル世代	ジェネレーションZ
テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイテク通 ・マルチタスク志向 (PC/モバイル端末2画面) ・3D思考 ・テレビ平均視聴時間：14.8時間/週 ・SMS/WhatsApp等のテキストベースの通信 ・好きなソーシャルメディアアプリ：Facebook ・好きなウェブサイト：Amazon ・集中力持続時間：12秒 ・情報の根本的な透明性 (radical transparency) を重視 (あらゆる情報を共有) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー依存 ・マルチタスク志向 (PC/モバイル端末5画面) ・4D思考 ・テレビ平均視聴時間：13.2時間/週 ・絵文字等のビジュアル中心の通信 ・好きなソーシャルメディアアプリ：Snapchat ・好きなウェブサイト：YouTube ・集中力持続時間：8秒 ・情報の安全性を重視 (サイバーセキュリティ/プライバシー保護を考慮した情報共有)
消費性向	<ul style="list-style-type: none"> ・多額の学生ローンを抱え、住宅購買や結婚を延期 ・実家/賃貸暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務に保守的な見方を示し、早くから貯金する傾向にある ・財務知識/住宅保有を重んじる
価値観	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在」を重視・楽観/理想主義 ・「ミー (Me、自己中心)」世代 ・依存的で資格/権利を主張する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来」を重視・現実/実利主義 ・「ウィー (We、コミュニティ)」世代 ・独立志向で根気強い
ライフスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・経験/体験的 ・利便性を重視し外食を好む ・娯楽映画：「ハリー・ポッター (Harry Potter)」 ・モノの共有・観念的活動家 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁欲的 ・健康/環境/社会に配慮した食べ物を好む ・娯楽映画：「ハンガー・ゲーム (Hunger Games)」 ・DIY (モノの自作) ・活発にボランティア活動に参加
仕事及び教育に対する姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・スカウトされることを好む ・チーム志向・受動的 (従来型) 学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事での成功及び事業立ち上げ意識が高い ・集合意識が高い ・インタラクティブ/ソーシャル/自己学習

出典：JETRO/IPA New York
 次世代を担う「ミレニアル世代」「ジェネレーションZ」
 -米国における世代 (Generations) について(抜粋)



CareerBeamConsulting